

の符文は、須らく出給に至るべき者なり。

今開す 赴京の

使者一員 宗善 人伴三名

隆慶二年（一五六八）二月二十三日

右の符文は進香の使者宗善等に付し、此れに准ぜしむ

符文

1-26-03

国王尚元の、皇帝と皇太子への進貢慶賀のため王舅毛廉等を遣わす符文（一五六九、二、一五）

琉球国中山王尚元、進貢、慶賀等の事の為にす。

今、特に王舅毛廉を遣わし、長史蔡朝器等と同一表箋文各一通を齎捧せしむ。本国の小船一隻に坐駕し、馬二匹・生硫黄六千斤、及び護送の通事蔡朝俊等の船内に馬二匹・生硫黄四千斤、共に生硫黄一万斤・馬四匹、並びに金靶鞆腰刀二把・銀靶鞆腰刀二把・鍍金銅結束紅漆靶鞆腰刀一十六把・鍍金銅結束紅漆鞆沙魚皮靶腰刀一十把・蘇木五百斤を装載し、京に赴き御前に進賀し、又、金結束黒漆鞆沙魚皮靶腰刀二把・鍍金銅結束紅漆靶鞆腰刀一十二把・鍍金銅結束紅漆鞆沙魚皮靶腰刀一十把・両面泥金扇一百把・一面泥金扇一百把は正位東宮に進賀す。仍お礼部に赴き告稟して

進収せしむる外、茲の諭遣を承くれば、途に在りて遲滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき者なり。

今開す 赴京の

王舅一員 毛廉 人伴十名

長史一員 蔡朝器 人伴十名

使者一員 衛栄 人伴五名

都通事一員 鄭祐 人伴三名

存留在船使者一員 吳蒙達 人伴二名

護送の小船に坐駕する使者一員 馬沈布 人伴二名

護送の小船に坐駕する通事一員 蔡朝俊 人伴二名

国王附搭の蘇木二千斤

隆慶三年（一五六九）二月十五日

右の符文は長史蔡朝器及び都通事鄭祐等に付し、此れに准

ぜしむ

進貢慶賀等の事の為にす 符文